

2025年度 施策評価シート(2024年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	産業労働部 観光課			
重点戦略	II 地域を支える産業の振興					
戦略プログラム	観光振興プログラム					
施策名	【重点】滞在型観光の推進					

2 生き活き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	観光消費額	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	1,300	1,600	1,600	1,750
現況値	1,737億円／年（2015～2019年の平均）	実績値	1,134	1,673	2,208	2,344
目標値	1,750億円／年	達成率	87.2%	104.6%	138%	133.9%
備考		達成度	3	4	5	5

指標名	観光入込客数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	1,200	1,500	1,500	1,600
現況値	1,579万人／年（2015～2019年の平均）	実績値	1,099	1,499	1,564	1,626
目標値	1,600万人／年	達成率	91.6%	99.9%	104.3%	101.6%
備考		達成度	3	3	4	4

指標名	延べ宿泊者数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	400	500	500	600
現況値	552万人／年（2015～2019年の平均）	実績値	371	458	555	578
目標値	600万人／年	達成率	92.8%	91.6%	111%	96.3%
備考		達成度	3	3	4	3

3 関連する事業名

- アフターコロナ観光キャンペーン事業
- 地域の魅力を活かした着地型旅行商品造成・販売促進事業
- 教育旅行誘致推進事業
- 県北アートを切り口とした県観光振興事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

9月から11月の「おかやまハレいろキャンペーン2024」では、アートや食、歴史、夜の楽しみ方などをテーマとした企画を展開し、集中的な情報発信を行った。全県的な観光キャンペーンと県北部12市町村を舞台とした「森の芸術祭 晴れの国・岡山」を同時に開催することにより、相乗効果による誘客と県内周遊の促進に取り組んだ結果、観光消費額、観光入込客数、延べ宿泊者数とも前年を上回った。なお、「森の芸術祭 晴れの国・岡山」については、来場者数は延べ52万人を超えて、県内に生じた経済波及効果は約38億円、パブリシティ効果は約23億円、来場者の平均消費支出額は17,962円と推計され、県内経済への好影響が確認できた。

6 今後の施策推進に向けての課題

大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭といった好機を生かし、市町村等との連携により、情報発信の強化に加え、自然や歴史、文化等の観光資源に、食や体験等を効果的に組み合わせたコンテンツの造成等に取り組むことで、県内周遊の促進や滞在時間の延長につなげ、観光消費額の拡大を図る必要がある。
次回の森の芸術祭の開催に向けては、アーティストや会場を早期に選定することで、市町村や関係施設等へ迅速に情報提供し、円滑に作品制作、会場運営を行う必要がある。また、広報資材を早期に制作し、事前のPRや周知を行うとともに、首都圏や海外からの誘客のための情報発信を強化する必要がある。

2025年度 施策評価シート(2024年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	産業労働部 観光課		
重点戦略	II 地域を支える産業の振興				
戦略プログラム	観光振興プログラム				
施策名	【重点】多様な主体と連携した魅力発信				

2 生き活き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	観光入込客数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	1,200	1,500	1,500	1,600
現況値	1,579万人／年（2015～2019年の平均）	実績値	1,099	1,499	1,566	1,626
目標値	1,600万人／年	達成率	91.6%	99.9%	104.4%	101.6%
備考		達成度	3	3	4	4

3 関連する事業名

- ・デジタルマーケティングを活用した観光情報発信力強化事業
- ・広域観光推進事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

隣県と連携したドライブマップによるPRのほか、NEXCOとの連携による高速道路を利用した情報発信、SNSを活用したデジタルマーケティングなどにより、ターゲットを意識した誘客に取り組んだ。

6 今後の施策推進に向けての課題

大阪・関西万博等の好機を最大限活用しながら、DMOや近隣県、民間事業者等の多様な主体と連携し、引き続き、ターゲットを意識した戦略的な観光プロモーションを開拓することで、一層の認知度向上及び誘客の促進を図る必要がある。
--

2025年度 施策評価シート(2024年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	産業労働部 観光課			
重点戦略	II 地域を支える産業の振興					
戦略プログラム	観光振興プログラム					
施策名	【重点】国・地域の特性を踏まえたインバウンド戦略の展開と航空ネットワークの拡充					

2 生き活き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	外国人延べ宿泊者数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	100	150	300	487
現況値	487千人／年（2019年）	実績値	22	59	332	514
目標値	487千人／年	達成率	22%	39.3%	110.7%	105.5%
備考	観光庁「宿泊旅行統計調査」	達成度	1	1	4	4

指標名	岡山桃太郎空港の国際線利用者数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	2	8	16	26
現況値	26万人／年（2019年度）	実績値	0	0.1	14.0	24.3
目標値	26万人／年	達成率	0%	1.3%	87.5%	93.5%
備考		達成度	1	1	3	3

3 関連する事業名

- 空路利用促進事業
- 海外プロモーション強化事業
- 情報発信力強化事業
- 受入環境充実事業
- 瀬戸内ブランド推進事業

4 施策達成レベル

3.5	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

タイでのトッププロモーションをはじめ、SNS等での積極的な情報発信、現地旅行博への出展や商談会の開催、海外旅行会社の招請ツアーなどプロモーションの強化に取り組むとともに、レンタカー助成の実施等受入環境の充実を図った結果、2024年の外国人延べ宿泊者数は前年比55.0%増となり、2007年の調査開始以降、過去最高を記録した。
--

6 今後の施策推進に向けての課題

拡大するインバウンド需要を取り込めるよう、大阪・関西万博に来場する訪日外国人の本県を滞在拠点とした周遊の促進や近隣県等と連携した広域周遊による誘客を図るほか、増加するFITT（個人旅行者）需要の獲得に向けたプロモーション活動の強化や岡山ならではの魅力的な体験型コンテンツの充実などに取り組む必要がある。

2025年度 施策評価シート(2024年度実績)

1 評価施策名		担当部課室 土木部 都市計画課	
重点戦略	II 地域を支える産業の振興		
戦略プログラム	観光振興プログラム		
施策名	【重点】岡山後楽園の魅力づくり		

2 生き活き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	岡山後楽園の入園者数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	510	680	765	850
現況値	849千人／年（2015～2019年度の平均）	実績値	268	651	782	782
目標値	850千人／年	達成率	52.5%	95.7%	102.2%	92%
備考		達成度	2	3	4	3

3 関連する事業名

- ・岡山後楽園魅力向上事業
- ・岡山後楽園・岡山城連携推進事業

4 施策達成レベル

3.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

賑わい創出や魅力向上を図るため、春・夏・秋の幻想庭園、特別な空間での和文化体験事業や四季折々の伝統行事を行った。訪日外国人旅行者の増加などから、入園者数は、コロナ禍前の9割を超えるところまで回復している。また、二色が岡景観復元整備事業や亭舎の茅葺き屋根の葺き替え工事等を行い、文化財庭園の保存・継承に努めた。
--

6 今後の施策推進に向けての課題

岡山後楽園・岡山城等連携協議会での協議や、後楽園魅力向上委員会からの提言等を踏まえ、さらなる後楽園の魅力づくりに努め、国内外からの入園者の増加に努める必要がある。

2025年度 施策評価シート(2024年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	環境文化部 自然環境課			
重点戦略	II 地域を支える産業の振興					
戦略プログラム	観光振興プログラム					
施策名	【推進】観光資源としての自然や文化の積極的な活用					

2 生き活き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	文化財保存活用地域計画作成着手市町村数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	1	3	6	9
現況値	2市町村（2019年度）	実績値	2	3	3	4
目標値	11市町村	達成率	200%	100%	50%	44.4%
備考	2024年度：6市町村（達成率は現況値からの増加数で算出）	達成度	5	4	2	1

指標名	自然公園利用者数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	1,105	1,140	1,175	1,210
現況値	1,100万人（2018年度）	実績値	721	644	950	1,031
目標値	1,210万人	達成率	65.2%	56.5%	80.9%	85.2%
備考		達成度	※1	※1	※2	※2

3 関連する事業名

- ・自然公園リファイン・観光客アトラクト事業

4 施策達成レベル

1.5	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

国立公園などの老朽化施設の再整備や撤去を行うとともに、ガイド等を対象とした人材育成研修を実施することでガイドとしての知識やスキルを豊富に有する人材の育成を図り、自然公園の利便性や魅力の向上を図ることができた。
--

6 今後の施策推進に向けての課題

誘客の促進に向けて自然公園の利便性や魅力向上を図るため、施設のさらなる充実を図るとともに、文化財保存活用地域計画策定に向けて、市町村の地域計画の策定委員会へ参画し、助言するなど、引き続き支援を行う必要がある。
--

2025年度 施策評価シート(2024年度実績)

1 評価施策名

担当部課室 土木部 港湾課

重点戦略	II 地域を支える産業の振興
戦略プログラム	観光振興プログラム
施策名	【推進】港を中心としたにぎわいの創出

2 生き活き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	宇野港へのクルーズ客船の寄港回数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	3	6	12	25
現況値	22回（2019年）	実績値	0	2	12	12
目標値	25回	達成率	0%	33.3%	100%	48%
備考		達成度	1	1	4	1

3 関連する事業名

- 宇野港利用促進事業

4 施策達成レベル

1.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

クルーズ客船の誘致のため、宇野港航路誘致推進協議会に対する支援やポートセールス、宇野港の認知度を高めるための雑誌への広告掲載に取り組んだ。

6 今後の施策推進に向けての課題

クルーズ客船の寄港回数をコロナ前の水準に回復させ、宇野港のにぎわいを取り戻すために、積極的な広報活動や地元団体と協力したおもてなし活動を実施する。

2025年度 施策評価シート(2024年度実績)

1 評価施策名		担当部課室	産業労働部 観光課			
重点戦略	II 地域を支える産業の振興					
戦略プログラム	観光振興プログラム					
施策名	【推進】サイクリングを通じた観光振興					

2 生き活き指標(推進施策の指標)の進捗(達成)状況

指標名	ハレいろサイクリング専用ホームページページビュー件数	年度	2021	2022	2023	2024
		目標値	146,000	154,000	162,000	170,000
現況値	129,134件 (2019年度)	実績値	108,131	146,905	178,281	147,007
目標値	170,000件	達成率	74.1%	95.4%	110.1%	86.5%
備考		達成度	2	3	4	3

3 関連する事業名

- おかやまハレいろサイクリングルート魅力強化事業

4 施策達成レベル

3.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して施策達成レベルを算出
-----	------------------------------------

5 施策推進による主な成果

「ハレいろサイクリングOKAYAMA」専用WEBサイトを活用し、推奨8ルートを中心に魅力発信を行うとともに、サイクリング情報誌等を通じて、情報発信を行った。また、2023年度から、推奨ルート周辺の観光施設や飲食店等との連携により、「ハレいろサイクルカフェ」制度を開始し、2024年度は新たに46施設・店舗を登録し、合計94施設・店舗となり、ルートの魅力の向上につながった。
--

6 今後の施策推進に向けての課題

サイクリングルートの利用者拡大に向け、サイクリングを気軽に楽しむライト層をターゲットに、本県の多彩なルートやハレいろサイクルカフェをPRする取組を強化し、県内周遊の促進と誘客拡大を図る必要がある。
--